



会報

# かんゆう

年刊

発行  
関西医療学園校友会  
〒558 大阪市住吉区苅田6-18-13  
関西鍼灸柔整専門学校  
TEL 06-699-2222  
印刷  
タカダ印刷 TEL 791-0034

## 平成元年度 校友会総会開催

### 横関貞克会長再選される!

平成元年総会は、去る五月二十八日、ホリディン南海大阪において校友会会員約二〇〇名の出席を得て、新役員を発表、平成元年度の事業報告、特に校友会名簿発行における会員への協力要望等につき、武田理事長、川俣短大長両来賓の出席を得て、懇親パーティーを含め盛大に開催された。



本年は校友会役員改選時期に当り、新しい校友会組織づくりのために平成元年度初春より活動がなされ、校友会会則に準じて役員改選は五月に開催された代議員会において満場一致にて横関貞克会長が再度選任され校友会活動に尚一層御尽力頂くことになった。また、副会長に上野章鍼灸按部会会長と成山明一柔整部会会長が横関会長を補佐する職務に就任された。横関会長より平成元年度の事業である校友会名簿発行にともなう説明が行われ、役員の大なる協力をお願いするとともに校友会総会への準備へと進んだ。

校友会総会は会費制が定着した現代の傾向を反映して、総合司会宮本弘隆会員(J8期)の進行にて盛大に開催され、横関新会長より就任までの経過報告並びに総勢二十六名の役員および七十三名の代議員の紹介および発表があり、また昨年度の三十周年記念祝賀会の校友会会員の諸氏への協力お礼を述べ、校友会会員の盛大なる拍手をうけた。次に御来賓の祝辞があり、上原樽助元会長の乾杯で懇親パーティーが開始された。ホテルにおいてのパーティー開催になり年々会員の出席も多くなり、同級生との再会、また恩師を囲んで懐旧談に花を咲かせる姿は喜ばしいかぎりである。さらに山本博司会員(K20期)の進行にてビンゴゲームがはじまると会場は最高に盛り上がり、幸運



の一等賞当選者は宮本勝立会員(J1期)であった。賞品のワンプログが贈呈されると会場は湧きあふれんばかりの大拍手にまつまれた。時間のたつのも忘れず参加会員の楽しみに定着した企画である。最後に結びとして、関西医療学園理事宮本勝立先生の発声で万歳を三唱し無事パーティーは終了した。



新役員にとつては初めての事業が総会に当り、大変なご苦労とともに多数の校友会会員のなつかしい顔を見、楽しく過ごされていくのを見て、年一回の総会が学園発展の益々の途上である感をもたれたと思います。名簿の発行、学術研修会の開催、学園行事の協力等、役員並びに会員諸氏の御協力、御健闘を心からお祈りしたいと祈っております。

#### 会員名簿の発行せまる

校友会発足三十周年記念号 永らくの懸案であった会員名簿の発行は、本年度総会で報告があったとおり、着々と準備がととのい、九月十三日現在、編集の最終段階となっている。

今回の名簿配布に関しては各会議で異見もあったが、「会員すべてに均等の恩恵を与えたい」という横関会長の要望を承認し、無料で配布することとなった。

発行部数は、八月末日現在の住所判明者数および学生・生徒数ならびに教職員、広告主数の総計に限定するため、四千数百冊となる見込みである。

なお、名簿の住所は今回送の郵便物宛名どおりとなっているから、あらためて確認いただきたい。ただし、内容の訂正は時間的に不可能であるも、郵送先は変更可能なので、名簿訂正票の記入要領にしたがって、すみやかに連絡いただきたいとのことである。

#### ◆名簿登録件数

卒業生数	6196
卒業実数	5224
住所判明数	3671
二年修了数	K84
	H142
住所判明数	42
専門学校生徒数	240
短大学生数	392



ご挨拶

校友会会長 横関貞克



会員の先生方には益々御清栄のことと存じます。

本年も「かんゆう」発行の季節となりました。

今年は役員改選に当りますが、去る5月の代議員会において再度ご選任賜り続投致すことになりました。どうかよろしく御協力頂きますようお願い申し上げます。

さて、今年度の事業として恒例の総会を5月にホリデイイン南海で非常な盛況のもとに行いました。そして11月には特別研修会を行います。

柔整部会三十周年記念 学術講演会および柔道大会

日時 平成元年11月3日(金) 午前10時  
会場 関西鍼灸柔整専門学校新館講堂4F  
◇学術講演会  
1、パネリスト スカッシュン 午前10時  
脱臼「こんな時「知識と技」が生かれます  
パネリスト  
池田清芳先生 (J5期)  
明智正廣先生 (J18期)  
平山靖英先生 (J19期)  
木村九二男先生 (J22期)  
加藤勝哉先生 (J24期)  
2、足趾のはさみ力について 午前11時30分  
大阪体育大学教授 岩田 勝先生 (J13期)

◇学術発表

- 11月3日 午後1時 結城誠一 (J2A)
- 1、野球肘における一考察
- 2、サーモスプリント固定による舟状骨骨折の治験例 森田 茂 (J2B)
- 3、肘関節後方脱臼時に肘頭亀裂骨折を合併した症例について (J2A)
- 4、鎖骨骨折の固定について (J2B)
- 5、肩鎖関節脱臼について (J1B)
- 11月4日 午後1時 関西鍼灸柔整専門学校柔道場5F
- 1、古 法 (J2A)
- 2、肩関節捻挫について (J2B)
- 3、Cole's骨折の考察 (J1A)
- 4、腰部疾患の考察 (J1B)
- 5、肩関節疾患について (J1A)
- ◇柔道大会 新館柔道場5F
- 午後1時
- J2チーム O・Bチーム
- J1チーム Sチーム
- 短大チーム

新法施行に伴う 新校舎建設について

理事長 武田秀孝



校友会の皆さんにはますますご健勝で業務に精励され、また日夜研鑽されていることと拝察いたします。

校友会も短大部会を加え、横関会長以下その運営に専心いただいておりますことを心より厚く御礼申し上げます。

また校友会では、本学同窓会結成30周年を記念して校友会会員名簿の作成をしていただいております。大変な事業なので担当していただいている先生方には本当にご苦労をおかけいたします。

ております。

さて本学も昨年創立30周年を迎え、また皆様方の絶大なる後援により設立することができました。短期大学も早や開学以来5年目を迎えることになりました。

川俣学長以下短大教職員一丸となつて鍼灸教育を推進していただき、ほぼ基盤も固まり一段の飛躍とその使命および機能の発揮のため、更に努力いただいておりますことをご報告申し上げます。

翻つて専門学校におきましては、鍼灸科が定員30名となり少し寂しくなりましたが、柔整科と協調して以前と変わりなくにぎやかに楽しく運営していただいております。

ご挨拶

鍼灸按部会会長 上野 章



校友会員の諸先生におかれましてはその後益々ご健勝にて御

ご挨拶

柔整部会長 成山明一



昭和60年4月、関西鍼灸短大設置後、校友会は新しい組織として発足し3年、横関会長が4月再任され、私自身も新副会長に推挙されて半年が経過いたしました。本年は新会員名簿発行、柔整部会30周年、第3回学術大会に若林正人テレビ朝日キャスターを招聘する予定など、重要な事業が目白押しの中、私は会員の皆様の御期待に答えられるようアイデアはもちろん、校友会事業の新しい展開に微力ではありますが、全力投球で職務

のような場で勉強していただいた校友会の皆様には大変申し訳なく感じておりましたが、今度はすつきりとした校舎を建設し、よりよい教育環境の下で新法施行の趣旨に則り新しく出発したいと考えております。すでに基本設計は終わり、平成2年1月には現校舎(別館、本館)を解体し、その間は手狭ですが新館にて授業を行い、平成3年4月から授業ができるよう進めていきたいと計画いたしております(鉄筋6階建て、一部4階)。

校友会の皆様には相変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

おおせつかり、汗顔のいたりでございます。何とか校友の利益と発展のため、また関西医療学園の発展のために微力ながら尽くしたいと思っております。

今後共に相変わらぬ御支援と御鞭撻をお願い致しまして就任のご挨拶と致します。

なお11月3日は、恒例の校友会主催・関西名物文化祭が併催されております。イベントは模範店はもちろん、展示される関連業界のものを含め、現役学生の学術研究もあり、盛況山に皆様は日頃の成果を発表してくれらるものと思っております。また11月12日の校友会学術大会も第3回を迎えて内容の充実を期すべく鋭意準備を進めております。このように校友会はこの3年間、次々と充実したプランを企画し、予算の裏付けを確保し、若い理事の人材を投じているなど、学園と両輪の活躍をして行けるものと自負しております。今後とも校友会を強力に支援くださいますよう重ねてお願い申し上げます。

ご挨拶

関西鍼灸短期大学 校友会 会長 大城日出男



短大校友会員の皆さん、こんにちは。日ごろは短大校友会に多大のご協力をいただき、ありがとうございます。

この度引き続き短大校友会長という重責をおおせつかり私自身、誠に以て微力ではございますが、諸先輩先生方と共に関西医療学園校友会の益々の発展に

尽くしたいと思っております。今後とも皆さんのご意見ならびに一層のご協力をいただきまますよう、よろしくお願い申し上げます。



関西鍼灸専門学校校友会役員

①代議員は50音順

名譽会長 武田 秀孝
理事総務委員長 菊池 久豊
理事企画委員長 品川 善三郎
代議員 鈴野 武利

関西鍼灸専門学校校友会 柔整部役員

①常任幹事、幹事の氏名は50音順

顧問 永野 満雄
相談役 山本 尚行
会長 大川 恵庸
副会長 宮本 隆一

石井 健志
井上 竹仁
伊藤 正典
岩野 勲二

関西鍼灸短期大学校友会 鍼灸按部役員

相談役 岸田 正和
広報委員 佐々木 昇造
理事総務委員長 船橋 喜代一

関西鍼灸短期大学校友会 役員

会長 大城 日出男
副会長 丸山 智平
監査 上田 秀司



須永 浩秋
多田 吉太郎
鳥越 孝浩
中尾 三守

アフターサービスと信用第一
医療設備の総合コンサルタント
○低周波○干渉波○レーザー光線
○ホットマグナー
○メディカルサポーター
○衛生材料○電動包帯巻器
○爽快くん
日本理学療法機器協会々員
日本東洋医学機器グループ会員
有限会社 小池商事
〒665 宝塚市中筋1-11-7
TEL 0797-89-3666

シンノオル電子医療機
本器1台で治療と検索(診断)が出来ます。
研究会員募集中
平成2年4月~9月 6回
(毎月第2日曜日開催)
特別A会員 ¥423,000
特別B会員 ¥365,000
普通会员 ¥120,000
(消費税別)
詳しくは(株)小池商事迄お問い合わせ下さい
TEL 0797-89-3666

磁気十振動十温熱治療
ホットマグナー
株式会社 中央レントゲン大阪
代表取締役 今里 淑郎
〒665 宝塚市中筋一丁目九番三十一号
TEL (0797) 881-222

○マジック伸縮ベルト
○メディカルサポーター(シームレス)
○コランダス(生薬配合)鎮痛消炎水性貼布剤5枚入
〈お求めは〉
代理店 (有)小池商事
または出入業者へ
ダイケン商事
TEL 07454 (3) 1485

歩きながら青竹踏みの効果
(土踏ず指圧代用サポーター)
爽快くん
(抗菌防臭加工)
お求めは代理店又は出入業者へ!!
代理店 (有)柔薬品商事
(有)小池商事
製造元 東レ株式会社
発売元 泉株式会社

関西医療学園校友会  
平成元年度事業計画報告

自 昭和63年 4月1日  
至 平成元年 3月31日

- 平成元年 5/28 校友会総会開催
- 10/ 校友会「かんゆう」第4号発行
- 10/ 会員名簿の発行(校友会発足30周年記念事業)
- 10/ 関西鍼灸柔整専門学校体育祭の援助
- 11/ 学術研修会開催
- 11/ 関西鍼灸柔整専門学校学園祭の援助
- 11/ 関西鍼灸短期大学三里祭の援助
- 平成2年 1/ 役員新年会開催
- 3/ 関西鍼灸柔整専門学校第32回卒業式・関西鍼灸短期大学第3回卒業証書授与式における表彰

平成元年度予算案

収入の部			支出の部		
科目	予算額	備考	科目	予算額	備考
前年度繰越金	3,590,845		総会費	1,650,000	150人×11,000
校友会費	6,900,000	230人×30,000	役員会費	500,000	
総会費	750,000	150人×5,000	通信費	1,300,000	案内状・会報発送
利息	50,000		通話料	50,000	
広告料	100,000	10社×10,000	事務用品費	100,000	
役員会費	150,000	50人×3,000	慶弔費	100,000	
雑収入	50,000		会長等渉外費	250,000	100,000 3人×50,000
			印刷費	800,000	会報・封筒
			バイト費・礼金	500,000	
			講演会費	500,000	講演料等
			各委員会費	80,000	4会×20,000
			運動会祝金	10,000	専のみ
			学園祭協力金	200,000	2校×100,000
			卒業生表彰盾代	40,000	4個×10,000
			卒業謝恩会祝金	60,000	2校×30,000
			卒業記念品	0	0 短1年・専2年前払
			各会の配分金	1,500,000	3会×500,000
			雑費	100,000	写真代・本代等
			会員名簿作製費	3,000,000	調査・印刷
			小計	10,740,000	
			予備費	850,845	
合計	11,590,845		合計	11,590,845	

鍼灸按部会昭和63年度会計・監査報告

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前年度繰越金	7,527,492	通信費	175,610
校友会費	400,000	印刷費	30,420
銀行利息	239,895	事務用品費	2,370
		慶弔費	49,000
		役員会費	222,375
		バイト人件費	13,000
		研究会費	42,400
		事務連絡費	105,000
		雑費	4,290
		創立30周年記念援助金	500,000
		次年度繰越金	7,022,922
合計	8,167,387	合計	8,167,387

鍼灸按部会平成元年度予算案

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前年度繰越金	7,022,922	通信費	30,000
校友会費	500,000	印刷費	10,000
利息	200,000	事務用品費	20,000
		慶弔費	100,000
		役員会費	200,000
		バイト人件費	30,000
		研究会費	150,000
		講師料	100,000
		印刷費	40,000
		事務連絡費	100,000
		雑費	10,000
		予備費	6,932,922
合計	7,722,922	合計	7,722,922

関西鍼灸柔整専門学校校友会  
柔整部会平成元年度事業計画案

自 平成元年 4月1日  
至 平成2年 3月31日

- 平成元年 1. 4/16 幹事会開催および役員改選
- 2. 校友会開催への協力
- 3. 11月頃、校友会学術大会に協力参加
- 4. 柔道部へ助成、各柔道大会の参加援助および遠征等への援助
- 5. 柔整部会会員相互の親睦のため研修会および研修旅行の開催等
- 6. 支部学術大会に協力
- 7. 柔整部会30周年記念行事の開催

柔整部会平成元年度予算案

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前期繰越金	558,037	柔道奨励助成金	200,000
受取利息	2,000	柔整部30周年記念協力金	300,000
校友会費	500,000	研修費	150,000
		会議費	100,000
		事務通信費	50,000
		慶弔費	50,000
		予備費	210,037
合計	1,060,037	合計	1,060,037

関西医療学園校友会  
昭和63年度事業報告

自 昭和63年 4月1日  
至 平成元年 3月31日

- 昭和63年 4/4 関西鍼灸短期大学第4回入学宣誓式に会長出席
- 4/9 関西鍼灸柔整専門学校第32回入学式に会長出席
- 4/10 校友会委員長会議開催
- 4/10 第1回理事会開催
- 4/10 第1回代議員会開催
- 5/21 校友会総会および学園創立30周年祝賀会開催
- 6/12 第2回理事会開催
- 10/1 会報「かんゆう」第3号発行
- 10/2 関西鍼灸柔整専門学校体育祭に会長出席
- 11/ 関西鍼灸柔整専門学校学園祭への援助
- 11/ 関西鍼灸短期大学三里祭への援助
- 11/6 第3回理事会開催
- 11/20 学術研修会開催
- 平成元年 1/22 役員新年会開催
- 3/11 関西鍼灸柔整専門学校第31回卒業式に会長出席
- 3/18 関西鍼灸短期大学第2回卒業証書授与式に会長出席

昭和63年度会計報告

収入の部			支出の部		
科目	予算額	決算額	科目	予算額	決算額
前年度繰越金	3,146,620	3,146,620	総会費	3,000,000	3,000,000
校友会費	6,870,000	6,750,000	30周年協力金	3,000,000	3,000,000
総会費	3,000,000	3,000,000	役員会議費	500,000	326,539
利息	10,000	94,275	通信費	600,000	535,660
広告料	80,000	100,000	通話料	100,000	43,470
役員会費	200,000	138,000	事務用品費	150,000	58,767
30周年協力金	0	1,000,000	慶弔費	200,000	52,000
			会長等渉外費	200,000	250,000
			印刷費	700,000	770,534
			備用品代	200,000	0
			バイト費	500,000	84,690
			講演会費	500,000	374,330
			各委員会費	80,000	80,000
			運動会祝金	20,000	10,000
			学園祭協力金	200,000	200,000
			卒業生表彰盾	50,000	75,200
			卒業謝恩会祝	60,000	60,000
			卒業記念品	180,000	196,600
			卒業記念前払	400,000	280,000
			各会の配分金	1,200,000	1,200,000
			雑費	100,000	40,260
			予備費	1,716,620	0
			小計	13,306,620	10,638,050
			次年度繰越金		3,590,845
合計	13,306,620	14,228,895	合計	13,306,620	14,228,895

関西鍼灸柔整専門学校校友会  
鍼灸按部会昭和63年度事業報告

自 昭和63年 4月1日  
至 平成元年 3月31日

- 昭和63年 4/3 K15期同窓会に会長出席
- 4/10 第1回常任幹事会開催
- 4/10 於 関西鍼灸柔整専門学校新館講堂 第1回幹事会開催
- 5/21 於 関西鍼灸柔整専門学校新館第1集会室 昭和63年度総会開催および関西医療学園30周年祝賀会に協力
- 5/21 於 新阪急ホテル 第1回企画委員会開催
- 5/28 於 難波ニューミュンヘン南大使館 K25期、島中伸二氏死去により弔電発送
- 6/23 事務連絡費送付
- 7/10 第2回常任幹事会開催
- 8/24 部会研修会の案内発送 総数2,631通
- 9/1 校友会「かんゆう」発刊に協力
- 9/18 部会研修会開催 テーマ「保険と税務」
- 9/18 於 専門学校、新館講堂 出席者110名 第2回幹事会開催
- 9/18 於 専門学校新館講堂 関西医療学園校友会学術講演会に協力
- 11/20 中山琢治先生宅、火事につきお見舞い
- 12/5 平成元年 校友会新年宴会開催
- 1/22 於 難波ニューミュンヘン南大使館
- 3/11 関西鍼灸柔整専門学校卒業式に会長出席
- 3/18 関西鍼灸短期大学卒業式に会長出席

関西鍼灸柔整専門学校校友会  
鍼灸按部会平成元年度事業計画報告

自 平成元年 4月1日  
至 平成2年 3月31日

- 平成元年 5/7 第1回常任幹事会開催
- 5/7 於 関西鍼灸柔整専門学校新館第3集会室 第1回幹事会開催
- 5/7 於 関西鍼灸柔整専門学校新館第3集会室 平成元年 5/28 平成元年度総会開催
- 6/～9/ 鍼灸按部会研修会
- 10/ 会報「かんゆう」発行に協力
- 11/12 校友会学術講演会に協力
- 平成2年 2/ 新年宴会開催

関西鍼灸柔整専門学校校友会  
柔整部会昭和63年度事業報告

自 昭和63年 4月1日  
至 平成元年 3月31日

- 昭和63年 1) 4/10 学園創立30周年記念委員会出席
- 4/16 常任幹事会開催
- 4/23 学園創立30周年記念委員会出席
- 5/7 幹事会開催
- 5/21 学園創立30周年記念祝賀会に協力
- 6/12 役員会開催
- 8/27 和歌山支部校友会に協力
- 11/6 役員会開催
- 11/20 本部主催の学術講演会に協力
- 平成元年 1/22 役員会開催
- 3/11 関西鍼灸柔整専門学校卒業式出席
- 3/25 役員会開催
- 2) 学校柔道部に助成
- イ. 全国柔整学校協会柔道大会
- ロ. 大阪府柔道整復師会柔道大会
- ハ. 柔道部追い出しコンパ

柔整部会昭和63年度会計報告書

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前期繰越金	925,302	柔道奨励助成金	200,000
受取利息	1,505	学園30周年記念協力金	500,000
校友会費	400,000	会議費	19,000
		事務通信費	19,770
		慶弔費	30,000
		次期繰越金	558,037
合計	1,326,807	合計	1,326,807

関西鍼灸短期大学校友会  
平成元年度事業計画報告

平成元年 4/26 役員会開催  
於 関西鍼灸柔整専門学校  
5/28 総会開催  
於 ホリデイ・イン南海  
11月頃 関西鍼灸短期大学三里祭  
学術講演会主催

自 平成元年4月1日  
至 平成2年3月31日

平成元年度予算報告

Table with 6 columns: 収入の部 (科目, 予算額, 備考), 支出の部 (科目, 予算額, 備考). Total income and expenses are 550,923.

関西鍼灸短期大学校友会  
昭和63年度事業報告

昭和63年 4/16 役員懇親会開催  
於 難波くいだおれ  
5/21 創立30周年記念協力参加  
於 新阪急ホテル  
平成元年 2/4 役員会開催  
於 難波ニューミュンヘン南大使館

自 昭和63年4月1日  
至 平成元年3月31日

昭和63年度会計・監査報告

Table with 4 columns: 収入の部 (科目, 金額), 支出の部 (科目, 金額). Total income and expenses are 450,759.

鍼灸学科：120名

Table with 5 columns: 区分, 試験科目, 出願期間, 試験日, 合格発表日. Details for recommended and general admission.

平成2年度 入学試験案内

鍼灸科：30名 柔整科：60名

Table with 4 columns: 試験科目, 出願期間, 試験日, 合格発表日. Details for admission exams.

入学案内書は、切手1,000円 (送料含む) 同封のうえ、本学まで。

関西鍼灸短期大学 (教務課 入試係)

〒590-04 大阪府泉南郡熊取町小垣内990 TEL (0724) 53-8251(代)

入学案内書は、切手1,000円 (送料含む) 同封のうえ、本校まで。

関西鍼灸柔整専門学校 (入試係)

〒558 大阪市住吉区荻田6-18-13 TEL (06) 699-2222(代)

関西鍼灸柔整専門学校  
学校行事の報告と案内

例年、専門学校では新入生歓迎会、ソフトボール大会、体育祭、文化祭などの学校行事を催しています。本年度も次の通り実施され、また実施を予定しておりますのでお誘い合わせの上多数御参加ください。

の助人を得て参加しました。熱戦の結果、優勝したのはK3でした。(案内)

●新入生歓迎会  
平成元年5月14日(日)実施  
場所 本校講堂  
寸劇、歌など各クラスとも趣向をこらした出し物が登場しました。審査の結果、優勝したのはコント「みんなで楽しく」のJ2Aでした。

●文化祭  
平成元年11月3日(土)・4日(日)実施  
場所 本校  
学術研究発表のほか、模擬店、バザー、鍼供養、もちつき、パーティーと楽しい催しを企画しています。学生時代を思い出し、是非お越し下さい。

短大行事案内

●学園祭  
平成元年11月11日(土)・12日(日)  
場所 短大キャンパス  
講演会、コンサートのほか、展示発表、健康チェックなどが予定されています。

●公開講座  
「東洋医学による健康づくり」  
をテーマに一般社会人を対象に開催します。  
11月6日(月)  
はり、きゅうとは何か

校友会発足30周年記念講演会

日時 平成元年11月12日(日)  
会場 関西鍼灸柔整専門学校新館講堂

13:00~14:30  
「ニュースの裏側にひそむもの」  
テレビ朝日「ニュースステーション」キャスター  
若林正人先生

15:00~16:30  
「肝臓を守ろう」  
大阪大学附属病院第1内科教授  
鎌田武信先生

- 幹事 藤原 秀昭 橋本 等  
副会長 花田 一 橋本 等  
顧問 西原 一 橋本 等  
幹事 井上 吉晴 橋本 等  
顧問 武田 秀孝 橋本 等  
顧問 安藤 仁志 橋本 等  
顧問 豊後 勝茂 橋本 等  
相談役 大川 恵庸 橋本 等  
相談役 緒方 孝宜 橋本 等  
川端 孝宜 橋本 等

関西鍼灸柔整専門学校  
幸福銀行 加賀屋支店 普通口座 514419  
関柔会 会計・児玉 陽  
なお、11月3日(金)午後1時より新館5階において  
関西鍼灸創立30周年記念柔道大会(OBチームと学  
生チーム6チームによるリーグ戦と紅白試合)を開  
催致します。  
この大会を毎年恒例のものとして成功させたく皆  
様の御出席、応援をよろしくお願い致します。

関柔会よりお知らせ

平素は地域医療発展のためご活躍のこととお慶び  
申し上げます。平成元年度関柔会(関西鍼灸柔道部O  
B会)においては、長尾会長の下、新執行部で活動  
する運びとなりました。昨年度までは追い出しコン  
パのみの活動でしたが、本年度より年4回の活動を  
企画し、皆様の御協力を得て学校共々この会を盛り  
上げていきたいと願っております。  
つきましては、この会に御賛同頂ける方には年会  
費として5000円納入頂きたいとお願い致します。  
(誠に手数ですが左記の銀行口座までお振込願  
います)





# 訪中日記

K27 島内 薫

中国研修も今回で3回目、慣れたもんだとお思いでしょうが、とんでもない。今回は同行の旅行社ですら前人未踏の地に行くことになってしまったので、しかも、行った期間は、あの暴動の間隙を縫うがごとく4月27日～5月5日というきわどいものでした。

4月27日

9時15分、大阪空港に着く。予想通り南陽との連絡がどうしてもとれず文字通り予定が未定となっていました。なにしろ、いかげんな中国側の旅行社からの回答のみを頼りに日程が組まれていたので、乗り物の変更はあたりまえという世界なのだ。今回のように移動が多いと予定とまったく違う旅行にもなりかねないので、さすがに11時15分出発。

13時30分上海着。(さすがJAL、ほぼ時間通り)

中国との時差は1時間だが、4月中旬から9月中旬まではサマータイムが採用されているため、時計の修正は必要ない。レートは1元1137円でした。

上海は、政府直轄市で人口1300万人(人口密度は東京をはるかに超える)、アヘン戦争以来築かれた各国の租界地がヨーロッパの街並を彷彿させる。また、その隣にゴミゴミした裏町もある所でした。

市内までのたった17kmを30分以上かけて行くことになり、その渋滞ぶりにびっくりさせられた。道はまだまだ整備されていないのに車だけ増えた結果でしよう。このようなことがあるので、乗り物の時刻は十分に、いや、十二分に余裕を持たなければならぬと、あらためて思った。車は中国製、ソ連製や西独のワーゲン、日産セドリックと多種多様だが、まだまだ個人所有は認められておらず、公団、社用車かタクシーのみだそう。また、どこで故障しても修理が

できるような、手は同時に整備士の免許が必要なのだそう。

19時～20時 上海駅VIP用軟座待合室。2年前とはすっきり変わってしまい、今では北京駅に次いで中国No.2の座をしめているのだそう(ちなみにNo.3は長沙駅)。

待合室の中は花でかざられ、エスカレーター、電光表示板など中国ではめつたにお目にかかる重たい荷物(ほとんど本)を持ち、うす暗いホームから「上海→成都」行き急行列車に乗り込む(特急は南陽に停車しない)。

上海→蘇州→無錫→南京→徐州→洛陽→南陽 1368km、約23時間の旅程である。

中国の列車は、車両によって中身が違う。軟臥(4人1部屋、2段ベッドのグリーン寝台)、硬臥(3段ベッドの普通寝台)、軟座(短距離用グリーン座席)、硬座(一般座席)。

各車両にスタッフがいて、人が混ざらないように見張っているようだ。軟臥の料金は硬臥の倍の料金で飛行機のみで、乗客はといえば我々のような外国人旅行者が高級幹部。最近では商売で当たった金持ちの農民(万元戸年収1万元以上の者)に限られている。

線路のつぎ目で大きく跳ねてそのたびに目が覚めるといった始末で、睡眠は十分とはいえない。車両は古いものだが、西ドイツ製なのでひと安心。飲み物はホテルなどといついで、お湯のポットが一つついていて、中国の水は鉱物成分が多く、生水を飲むと下痢をしやすい。永々と流れる黄河の色を見ているとなんとなく納得してしまった。

朝食、昼食は食堂車とする。駅でその土地でとれたばかりの野菜や地鶏の卵、混ぜ物の一切車窓を流れる風景は遥かにそびえる山々、点々とある集落未舗装の田園、山に入れば侵食で切り立った崖の洞穴住宅、あたかも時間を逆行した世界にまぎれこんだ思いがする。また、蒸気機関車が走り回り、家々の前には石炭が積み上げてある。船で水平線をながめる旅も良いが、その国の生活が肌で感じられる列車の旅もまた良いものだ。ただ、のんびりとしているのは軟臥にいる我々だけで、一般客車の硬座車両はというと、連結部の荷物の上に横たわっている、生きていないのか死んでいるのかわからない人々、まるで画面で見た終戦直後の日本のようだが、つたりしている赤ん坊を抱えて荷物にもたれている母親やうずくまっている老人、そして窓からその上にさらに乗っけてくる人々。部屋に帰り足を伸ばして寝ころがれるのが申し訳ない気がした。

19時30分 南陽着(到着予定より30分遅れであった。これはすごいことだ)。日本人が来るのは大変珍しく、張仲景国医大学の学長代理、南陽政府外事、市長秘書が正装して出迎えてくれた。こちらはといえば、疎開してきた難民かという出で立ちであった。

その後、南陽賓館別館で歓迎



夕(となり、マオタイ酒(50度くらいか)の乾杯の嵐で完全に酔っぱらってしまった。中国では乾杯(カンパイ)したら林を完全にあげてしまい、それ(底)を相手に見せないと失礼にあたる。

4月28日

まず「傷寒論」で知られる張仲景を記念して建てられた張仲景記念廟はその壮大さにただただ驚かされた。人物像の庭園、人工の大きな池、広大な墓参の広場、傷寒論について論じた壁画等々、張仲景の偉功の程があらためて身にしみた。

次に「三回志」で有名な諸葛亮孔明を祀った武侯祠、さらに刺繡工場(停電中であつた)を見れば、よくあることだ(そうだが)を見て回った。そして張仲景国医大学への訪問。ここは省政府公認の唯一の私立大学である。易経の研究で有名なのだそうだ。

帰る時間になったが、ラッシュ時の渋滞のため、列車の時刻に間に合いませんと言っていました。渋滞中の道にある車を全て学内に入れ、駅までの一車線を強引にあげてしまえばバスを通すようにした。しかもバスをホームまで乗りつけ、我々が乗るために新しい車両を連結させて、その間他の乗客を待たせてしまった。さすがに共産圏の国家権力の力はすごい一言につきる。

20時、再び急行列車で成都へ

と向かう。湖北省、陝西省、四川省への1254km、約24時間の旅である。

4月30日

9時30分成都着。2時間半の遅れである(30分は全く私たちのためなので文句が言えない)。成都が四川省の省都で、パンダの老家であり、人口約850万人。「三国志」の劉備が蜀漢にいた古い都であり、「天府の国」「錦城」等、美しい別名を持つ。夕食の四川料理の強烈な辛さはなかなかの物だった。

5月1日

本日は労働節(メーデー)のため、町中はなんと閑散としていた。成都中医学院も本来は休みだが、特別に学院内を案内していただいた。成都中医学院は1956年、周恩来総理協賛のもとにできた最も古い中医学院の一つであり、キャンパス面積6200平方メートル、教授・学生合わせて4000人以上という巨大さである。また、さすがに中国全土の漢方薬の集積地だけに、その標本室や資料室の充実ぶりは目を見はるほどすばらしかった。上海や北京以上であることはまちがいないであろう。附属の病院も新築したばかりで今まで見た中で最もきれいであった。

書店に寄った後、「武侯祠」(各地にあるそうだが)、「杜甫草堂」(刺繡工場、薬膳で有名な「成都国仁堂」と見て回った。緯度の違いで午後8時を過ぎてもまだ明るい。

楽器や指笛の演奏を聞きながらの夕食はまた違った趣きで料理が一層ひきたった。

5月2日

朝この地方の有名なやが立ちこめてまきに一先は闇といった感じで、飛行機が飛ばないのではと心配になったが、空港はまずまずの視界でひと安心。しかし、今度は長沙の天候が不順で飛行機が飛ばない。中国

では、ローカル線はプロペラ機(ターボすら付いていないものもある)で有視界飛行のため、天候に左右されやすい。出発ロビーの発着表示板の便は全て時刻未定となっている。

10時30分、やっと中国民航で長沙へ向かう。

13時、長沙着。長沙は湖南省の省都で人口100万人。中国で唯一南北に流れる河川、湘江が市内を東西に分けている。夜まで自由時間で町をぶらぶら。服屋が多く町を行く若者はけっこうオシャレである。ただミニスカートは全てひるがえして自転車疾走する一行は思わず呆然と見つめてしまった。

21時、中国の按摩を受けるが、日本のものときほど変わらなかつた。

5月3日

長沙といえば、もう馬王堆漢墓遺跡(これしかないといえる)。1972年に発見されたBC194年、前漢時代のもので、2100年前のまだ弾力の残っていた女性のミイラが出土したことで有名である。漆器、楽器、武器とならんで素問、靈枢より古いと言われている医書の数々々々、その中でも靈枢経絡篇より一層難な経路を示した。足臂十一脈灸経、陰陽十一脈灸経が特に目を引いた。古い経路には心包経がなく、経路走行も飛び飛びで臓腑との関わりも少ししかないようである。他に五十二病方や導引図の原形など大変な物ばかりであった。管理のおばさんにしかられながらも一生懸命写真やビデオを取った。問題のミイラは地下室のガラス越しに見ることができ、内臓は全て別の容器に収められていてそれに胆石、心臓疾患、糖尿といった病名等が書かれてあるよう。特に内臓は全く腐敗しておらず、その保存状態の良さは信じられないほどだ。その秘密は棺にあり、まず四重構造にな

夕(となり、マオタイ酒(50度くらいか)の乾杯の嵐で完全に酔っぱらってしまった。中国では乾杯(カンパイ)したら林を完全にあげてしまい、それ(底)を相手に見せないと失礼にあたる。

4月29日

まず「傷寒論」で知られる張仲景を記念して建てられた張仲景記念廟はその壮大さにただただ驚かされた。人物像の庭園、人工の大きな池、広大な墓参の広場、傷寒論について論じた壁画等々、張仲景の偉功の程があらためて身にしみた。

次に「三回志」で有名な諸葛亮孔明を祀った武侯祠、さらに刺繡工場(停電中であつた)を見れば、よくあることだ(そうだが)を見て回った。そして張仲景国医大学への訪問。ここは省政府公認の唯一の私立大学である。易経の研究で有名なのだそうだ。



# 訪中日記

いだ場所、肉筆の大きな石碑があった。

**5月4日**  
今日は青年節(1919年5・4運動記念日、中等学校以上の学生に限られる祭日)で、デモで10万人以上集まるらしい。その前になんとしても市内を抜けて空港に入らなければならぬ。

**7時出発**  
7時45分空港着  
特別機を飛ばしてくれるそうだが、今度は広州の方が台風が接近しているため大雨でいつ飛ばせるかわからないとのこと。

もし今日中に香港に入らなければ、ゴールデンウィークがかんであるのでいつ日本に帰国できるかわからないそう。しかし中国では、こういうことはよくあることだそう、中国側の旅行社の人たちはあわてた様子も

なかった。  
10時30分、予想外に早く出発できそうである。

13時、広州着。広州は広東省の省都で人口320万人、中国南部最大の都市である。華僑のふるさとで、北京語でなく広東語が使われる。また「食は広州にあり」と言われるように日本人向きの味である。ただし、犬猫、蛇、ねずみ等、なんでも料理してしまい、その専門店も少なくない。〇〇虎〇なら猫料理、〇竜〇〇なら蛇料理なのだそう。

17時30分、国際列車で香港へと向かう。これでほぼまぢがいなく日本に帰れると思うと全身の力がぬけたようだ。車内は冷房がきき快適であった。同じ車の桂林観光の日本人ツアーの人たちは荷物がかさね、結局桂林を見ずに香港に移動してきたとのこと。今日のように移動の多い中国旅行では予定通り行く確率は50%に満たないそう。

やっぱり日頃の行いが…  
18時30分、香港着。ここはイギリス領なので世界でも珍しく車は日本と同じ左側通行であった。

**5月5日**  
枕の下にチップを置き、免税店に寄った後、空港に向かう。  
12時出発(香港時間日本時間では13時)  
16時福岡着。  
18時20分大阪空港着。  
まったく薄氷を踏むような旅行だったが、50時間を超える列車の旅で少しは悠久の歴史を持つ中国が分かったような気がした。もうよそう、もうよそうと思ってもまた行きたくなる中国でした。

## 内容の充実した 鍼灸按部会研修会!

鍼灸按部会学術研修会が去る九月十七日(日)関西鍼灸柔整専門学校新館講堂において開催されました。

昨年、「税務対策について」「保険問題について」のテーマで開催された部会の研修会は好評を博し、当日のアンケートにおいても、同じテーマでのより深めた内容での開催希望が最も多く、加えて学術面で内容のある企画希望もあり、企画委員の先生方の綿密な検討により、今回の研修会の運びとなりました。

演題・演者  
一部【実技公開】  
☆スポーツ障害 佐藤博哉先生  
☆吸角療法 三木雅貴先生  
二部【分科会】  
☆税務 税理士・行政書士 T K C 全国中央研修所 常任講師 天王寺経理専門学校 参事 結城順吉先生



☆保険  
全日本鍼灸マッサージ師会 健保推進特別委員会委員 大阪府鍼灸マッサージ連合会 師会副会長 竜田 親先生

## 同窓会を開いて

何とはなく忙しい日々の中で皆どうしているのかなと、時々学生時代のことを思い出しつつも関西鍼灸学園を卒業して早や十年が過ぎ、ふと皆に会いたくなり、同期生の一人に同窓会が今まであったか尋ねてみると、なかったとの返事。じゃあやろう!と決めたものの少し不安感があり、住所不明の方には学生時代の頃の住所に、他の方たちには校友会会長の横関先生にお願いして送って頂いた(横関先生、礼状出さずに済みませんでした)。H15期卒業生名簿の住所に、それぞれ同窓会の案内状ではなくアンケート用葉書を送り、一番多かった意見をもとに改めて同窓会の案内状を出しました。

ともかく五月十四日の同窓会には12名の友が集まり、皆変わったかあんまり変わらんとかそのうち話は学生時代から現在の話、そして治療の話となり、私は皆凄いなと嬉しくもまた心強く感じました。今回来れなかった方たちにも是非参加してもらおうようにしよう、これから毎年会を開こう、と約束して散会した。卒業十年目で初めての楽しい同窓会でした。

(H15・嶋田耕二)



三木雅貴(K2)・佐藤博哉(K8)両先生は共に校友会の相談役としてお世話頂いておりますが、今回は「秘伝公開」として、貴重な治療法を公開して頂きました。豊富な治療体験と臨床理論に裏打ちされた治療法は大いに参考となりました。また分科会では、結城・竜田両先生の懇切丁寧な解説とご指導を頂き、会員一同学ぶ所の多い研修会となりました。

次回も、今回同様に充実した内容での研修会を期待される声が多数聞かれました。

(広報・佐々木)



### アルバイト事務員募集

**勤務内容**  
パソコンによる会員名簿の管理およびその他の事務

**勤務日時**  
日曜、祭日を除く任意の日  
午前九時から午後五時までの任意の時間

**勤務先**  
関西鍼灸柔整専門学校内、校友会室

**委細面談**  
関西鍼灸柔整専門学校  
午前九時から午後五時の間  
校友会会長横関まで  
(日・祭日を除く)

### 異動の通知はすみやかに

校友会総務では、会員名簿をコンピュータで管理しています。年に数回郵送しますが、毎回多数の返却があります。今後も充分なサービスがでるよう、異動は左記要領です。なるべく御連絡ください。なお、投函前に誤記や簡略のないことを御確認ください。

(総務・久保井)

### 名簿訂正票

年月日

通知理由 \_\_\_\_\_

ふりがな氏名 ( )

旧住所 〒 \_\_\_\_\_

新住所 \_\_\_\_\_

電話 ( ) - \_\_\_\_\_

整理番号 \_\_\_\_\_

卒業区分 \_\_\_\_\_

通信欄

●受け取る郵便物が雑多なので必ず項目を入れる。

●改姓、住所変更、電話番号変更、死去、訂正などいずれかを記入。

●姓名に変更のあった場合は( )内に旧姓名を記入。ふりがなを必ずうつこと。

●郵便物を受け取りたい住所を記入。勤務先または治療所の住所を記入する場合は勤務先または屋号を記入。

●いずれの通知理由の場合でも記入のこと。(内容を電話で確認することがある)

●封筒の宛名シール右上の番号。

●索引の凡例を参考に。その記号で。  
例 K10  
J10

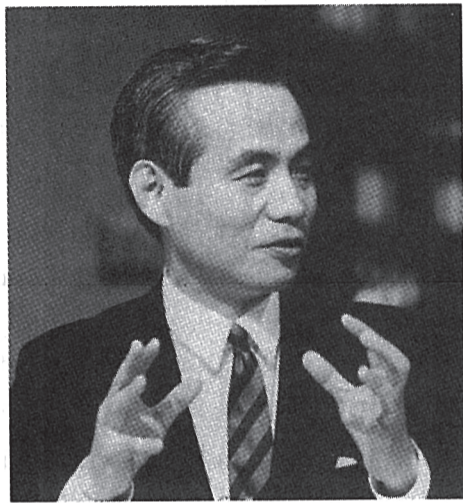


# 校友会発足30周年記念講演会

13:00～14:30

## 「ニュースの裏側にひそむもの」

テレビ朝日「ニュース・ステーション」キャスター **若林正人氏**



### ■講演抄録

「人間、心配事があるとメシが喉を通らなくなる」というのは、どうも嘘らしい。25年余りの銀行員生活から、テレビの業界に転職して4年になるが、この間に、18キロも太ってしまった。ストレスや、フラストレーションからのヤケ食いの為だ。生中継で、トチったり、思うところを、存分に話せなかったり、更に、巨人優勝の結果、私共の世代には、それこそ、かけがいのない頭髪を剃る（切る？）はめになった人から、何やかやといわれた時などは、もう、飲み食いに逃避するしかない。

同じ番組で、他の人の述べることに、自分の意見とちがうことが、しばしばあり、「何様か知らないが、世の中それだけではないよ！」と出番の少いこともあって、口惜しい。政治、経済から社会一般にいたるまで、世の中すべて、複雑怪奇。とても限られた時間内に、一言の<sup>ひとこと</sup>下に、さわやかにコメントできるものではない。テレビの影響力の強い時勢だけに、ニュース番組はこわい。

楽屋裏のこぼれ話から、失敗談、苦労話などを披露しつつ、人生を、日本社会を、皆様と一緒に考えてみたい。若林正人

### 略歴

昭和35年 東京大学法学部を卒業し、東京銀行入行  
40年 西独マールブルク大学留学  
41年 東京銀行デュッセルドルフ支店勤務。のち、フランクフルト支店、ハンブルク支店、ウィーン駐在事務所勤務を経験  
58年 営業企画部産業調査室審議役  
60年 東京銀行を退社し、テレビ朝日「ニュースステーション」のキャスターとなり、現在に至る。

著書 日本経済の乱気流を読む  
時事通信社 昭和62年11月

15:00～16:30

## 「肝臓を守ろう」

大阪大学医学部附属病院第一内科学教室教授 **鎌田武信先生**

### 略歴

昭和33年3月 大阪大学医学部卒業  
34年4月 大阪大学大学院医学研究科(第一内科)入学  
38年3月 同上修了。大阪大学医学博士号授与  
51年7月 大阪大学講師(医学部第一内科)  
53年4月 大阪大学助教授(医学部第一内科)  
60年2月 大阪大学教授(医学部第一内科)現在に至る。

著書 鎌田武信他編「アルコール代謝と肝I-Ⅱ」  
第一版、医歯薬出版 1982～4

### ■講演要旨

鍼による急性肝炎感染の危険性が云々されて以来、我々の業界でも、肝臓に対する関心が高まってきた。

肝臓とは、どのような臓器なのか、その病態は、そして、この大切な臓器をいつまでも健全に保つためには、どのような注意が必要か、などなどを簡明に、しかも我々の今後の知識向上のために、最新の研究成果と、具体的な臨床例を御講演いただく。  
(久保井記)

日 時 / 平成元年11月12日(日) 12:40～16:30

ところ / 関西鍼灸柔整専門学校新館講堂

入場料 / 無 料 (満員の折は入場できないことがあります。午後12時40分迄に御来場下さい。)

主 催 関西医療学園校友会